

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全・安心のまちづくり袋井市（防災・安全）														
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	袋井市														
計画の目標	舗装の劣化・破損が著しい箇所を修繕することにより、良好な生活環境と安全性の確保及び施設の長寿命化を目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		873	A	873	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A ＋ B ＋ C ＋ D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31		H35
1	舗装修繕率を向上させる			
	優先的に必要な舗装修繕を実施し修繕完了の延伸	0 k m	k m	8 k m

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	袋井市	直接	袋井市	市町村 道	修繕	湊川井線ほか 5 路線	舗装修繕	袋井市	■	■	■	■	■	873		策定済	
												小計						873		
											合計						873			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について検証し、その結果を踏まえ維持管理部局により評価した。	令和7年3月
	公表の方法
	袋井市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	交通量が比較的多く、舗装の劣化が著しい主要な幹線道路約6キロメートルについて、舗装修繕を行い良好な生活環境と安全性の確保及び施設の長寿命化が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き、安全安心のまちづくりを推進し、安全で快適な交通を確保するため、令和6年度以降は『命と暮らしを守る“ふじのくに”のみちづくり（防災・安全）（第2期）』にて舗装修繕を継続していく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	修繕完了舗装延長		
	最 終 目標値	8 k m	現場精査の結果、当初の想定以上に路床の評価が低く、施工費が増大した影響で修繕延長が延びず、目標値と実績値に差が出た。
	最 終 実績値	6 k m	